

1. 近代国家の成立 2. 明治維新と富国強兵

e. 初期の国際問題

1871年には、不平等条約について相談するために、^{いわくらともみ}岩倉具視を全権大使とする使節団が欧米に派遣されました。そのなかには、7歳の女子留学生津田梅子の姿もありました。

またこの時代、西洋文明をまねて暦を太陽暦にしたり、ランプやガス灯がとまされたり、鉄道が造られたり、社会の近代化が起こりました。これを文明開化といいます。^{ふくざわゆきち}福沢諭吉は『学問のすすめ』で「天は人の上に人をつくらず」と人間の平等を説きました。

江戸幕府がなくなっても、人々の生活は楽になれず、様々な不満が出てきました。^{さいごうたかもり}西郷隆盛や^{いたがきたいすけ}板垣退助は、そうした不満を外に向けるために、朝鮮に軍隊をおくことを主張しましたが、反対され、政府から離れました。その後、^{せいなんせんそう}西南戦争を起しましたが、敗れました。

①条約改正交渉

ア) 1871 ~ [1 **岩倉遣欧**] 使節団の派遣 目的: 条約改正の予備交渉

大使: 岩倉具視 副使: 大久保利通・木戸孝允・伊藤博文・山口尚芳 他に留学生を同行

→交渉には失敗するが、(a) 欧米近代国家の制度や産業を实地視察、導入をすすめる

イ) 1876 外務卿 [2 **寺島宗則**] … [3 **アメリカ**] を相手に [4 **関税自主権回復**] を中心に交渉

→イギリス・ドイツなどの反対で挫折

② 1873 [5 **征韓**] 論争…留守政府は [6 **不平士族**] の不満を朝鮮侵略に振り向ける

[7 **西郷隆盛**] (薩摩) [8 **江藤新平**] (肥前) [9 **板垣退助**] [10 **後藤象二郎**] (土佐) ら



遣欧使節から帰還した岩倉や [11 **大久保利通**] の反対で挫折→征韓派参議ら5人辞職

([12 **明治六年の政変**])

③ 中国… 1871 [13 **日清修好条規**] = 双方が 14 **領事裁判権** を承認→平等な条約

④琉球をめぐる問題

琉球王国…江戸初期までは [15 **独立国**]、ただし中国の王朝との間で [16 **朝貢**] 関係を結ぶ



江戸初期、幕府の許可を受け [17 **薩摩**] 藩の攻撃を受け、属国にされる

中国 ([18 **清**]) の属国であるとともに [19 **薩摩**] 藩の属国にもなる(両属状態)



明治政府成立→琉球を日本領とする方向を定め、1872 [20 **琉球藩**] をおく。

琉球国王 [21 **尚泰**] を琉球藩主とする



清は [22 **宗主**] 権を主張→(b) 清との関係を清算する 必要

→ 1874 台湾で、琉球の漁民が殺害される事件発生

日本軍の [23 **台湾出兵**] →イギリスの仲介で妥協

琉球は[24 日本]の一部と清に認めさせる・



1879 日本政府。琉球藩・琉球王国廃止を強硬、[25 沖縄]県をおく。([26 琉球処分])

④ 1875 [27 江華島]事件…朝鮮を挑発→[28 日朝修好条規]を押しつける

日朝修好条規…釜山など3港の開港、[29 領事裁判権]・[30 関税免除]・日本の貨幣の使用などを認める[31 不平等]条約

⑥ ロシアとの国境をめぐる問題

日露和親条約(1854)…[32 不平等]以南の千島を日本領に、樺太は日露雑居の地とする



1875 [33 千島樺太交換]条約を締結…[34 千島全島]を日本、[35 樺太]をロシアに

⑦ [36 小笠原]諸島を日本領として確定

f. 新政府への反乱

① 士族の不满の高まり=徴兵令(1873)、秩禄処分(1876)、廃刀令(1876)

1873 [37 征韓]論争での征韓派参議の辞任(西郷、江藤、板垣、後藤、副島)



士族らを中心に政府への批判の高まり [38 板垣退助]・後藤象二郎ら、愛国公党結成

② 1874 板垣ら[39 民撰議院設立の建白書]を提出(板垣退助・江藤新平・後藤象二郎・副島種臣)

藩閥政治を批判、天下の公論にもとづく[40 国会]の設立を要求

→[41 自由民権運動]のきっかけとなる

③ [42 士族]反乱の続発

ア) 1874 [43 佐賀]の乱=江藤新平ら

イ) 1876 敬神党の乱=熊本 秋月党の乱

萩の乱=前原一誠ら

ウ) 1877 [44 西南]戦争…[45 西郷隆盛]ら鹿児島(薩摩)士族の反乱、半年に及ぶ

→徴兵制に基づく軍隊の力によって鎮圧

*** 士族の反乱の失敗→士族民権=自由民権運動(板垣ら)へ**

④ 農民一揆の激発 1873 [46 血税]一揆、[47 学制]反対一揆

→徴兵令反対

1876 ~ 地租改正反対一揆…地租の引き下げに成功

⑤ 維新三傑の死

西郷隆盛→1877、[48 西南戦争]で戦死

木戸孝允→1877、病死(「西郷、ええ加減にせんか!」)

[49 大久保利通]→1878、不平士族に殺害される